大手前新聞

創刊
2018年（平成30年）
佐伯市役所
大手前開発推進室
☎0972-22-4623

令和元年

初春の令月にして
気淑く風和ぎ
梅は鏡前の粉を披き
蘭は珮後の香を薫す

安倍晋三首相は、4月1日発表した新元号に関する談話において、「令和」には、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ、という意味が込められております」と述べています。

佐伯市でも新たな複合文化交流施設が産声を上げようとしています。新しい時代「令和」の中で、皆様と一緒に心を寄せ合い、文化を生み、大切に育てていけるような施設とすべく努力してまいります。

さいき城山桜ホール開館プレイベント

まちなか桜フェスティバル

3月30日、大手前野外劇場で「まちなか桜フェスティバル」が行われました（わくわく大手前隊主催）。会場では、さいき城山桜ホールのオープニングに向けて、やりたいことや、実現したいことを桜の花びらに書いて、メッセージボードを桜で満開にする「桜のメッセージワークショップ」、日本一のけん玉師（しげきひろし）や、佐伯市出身のバルーンアーティスト（CHISHA）によるパフォーマンスが行われ、会場を盛り上げてくれました。

わくわく大手前隊

みんなで佐伯市をWAKUWAKUの花で満開にしましょう！

私たちは、新しい「まち」の未来に向かって活動しています。

開館に向かって

2020年秋「さいき城山桜ホール」の開館に向け、当該業務に当たる参事を迎え入れ、当室は、新たに開館準備係を設置しました。

完成予想図（城山を望む）

就任あいさつ

このたび、「さいき城山桜ホール」の開設準備と運営に携わることになりました。もとは旧県立芸術会館の学芸員ですが、その後、現在の県立美術館OPAMの設立準備に関わり、開館後は副館長として企画運営に携わってまいりました。今年度から、文化の薫るまち・佐伯のシンボルとなる「さいき城山桜ホール」の整備や管理運営に関わらせていただけますことは、この上ない喜びであり、また誇りでもあります。これまでの経験を活かしつつ、市民の皆様のご意見や、ご要望にしっかりと耳を傾けながら、全国に誇れる施設の設置と運営に微力ながら全力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大手前開発推進室
参事（開館準備担当）
加藤　康彦

歴史を紡ぐ　さいきの心

さいき春まつり

春まつりの様子（櫓門から）

3月30日、31日の2日間、平成最後の「さいき春まつり」が開催されました。今年もたくさんの人が来場され、会場を埋め尽くしていました。

移りゆく時代の中でも、しっかりと次の時代へと引き継いでいかなければならないものが佐伯市にはたくさんあります。この「さいき春まつり」も佐伯市にとって大切な伝統の一つです。

2020年秋にオープン予定の「さいき城山桜ホール」は開放的な建物で、正面には広場があり、隣接する道路は景観に配慮した設計で、イベント空間としても最適な環境となっております。今後、さいき春まつりを始めとしたイベントなど、様々な使い方で活用していただけたらと願っております。そして、この場所を中心に、周辺地域にもその賑わいが伝わっていくよう努力してまいります。

船頭マチイチ
2019SPRING
－お休み気分－

「まちを歩いてめぐってたのしむ1日」をテーマに2017年秋から始まり今回で7回目となりました。

フード・ドリンク・ワークショップ・雑貨など30程度のコンテンツが出店し、楽しい1日をお届けしますので、ぜひ、ご家族ご一緒にお越しください。

開催日：5月12日（日）
時　間：10：00～15：00
場　所：船頭町界隈

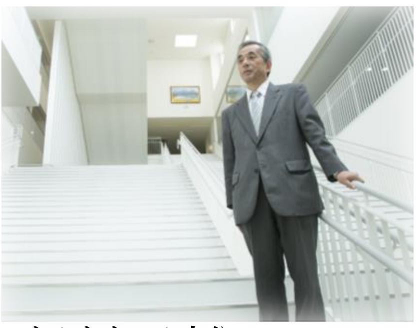
佐伯がいちばん！

さいき城山桜ホールは、佐伯市民の「宝箱」のみならず、大分県民の誇りになる複合文化交流施設です。これまで全国各地のホールに関わり、大分市のホルトホールの構想段階から携わっている一人として、さいき城山桜ホールは全国に発信できる「シティプライド」施設です。

ダイナミックな可変でアリーナにもなる大ホール、5室の防音スタジオ、食育活動支援室、子育て支援室、市民協働センター、大手前広場との一体利用など、さいき城山桜ホールならではの「強み」を活かしていく基盤はすでにできつつあるのではと大きな期待を抱いています。

佐伯市役所担当部の皆さんのミッションとパッションの高さと熱さに会議のたびに感銘しています。市民会議や市民ワークショップの成果を拝見しても、行政と市民が一体となって周到に準備している姿に心打たれます。

歴史・自然・文化・観光・教育・スポーツ・産業など、佐伯の豊かな風土がこれまで多くの人財を輩出してきました。さいき城山桜ホールは、これからの佐伯の文化芸術・食育・交流・回遊・にぎわい創出の拠点ゾーンとして、そして「市民の家」として、市内外・県内外の皆さんに愛されるホールになるものと確信しています。



ホルトホール大分
総合プロデューサー
是永　幹夫